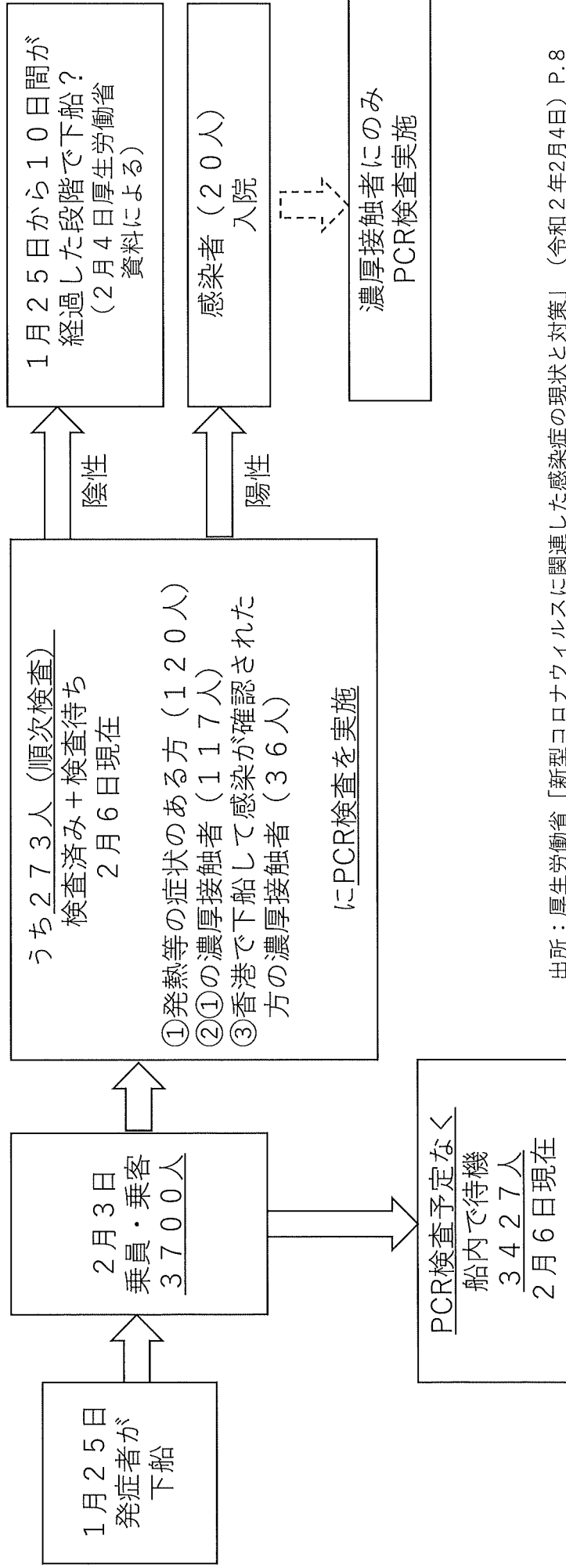


# クルーズ船ダイヤモンドプリンセスにおける検疫フロー



# 新型コロナウイルスに関連した感染症に関する WHOによるPHEIC宣言の概要(速報)

立国社 阿部知子  
2020/2/17衆議院予算委員会 資料⑤

2020年1月30日  
(ジュネーブ時間)

新型コロナウイルスに関連した感染症について、2020年1月30日に緊急委員会が開催され、「国際的に懸念される公衆衛生上の緊急事態(PHEIC)」が宣言された。

## 現状の認識

- まだ明らかになっていないことは多い。
- 1ヶ月でWHOの5つ地域で感染が拡大。
- ヒトからヒトへの感染は武漢や中国以外でも発生が確認されている。
- 一方で、各国が早期発見、患者の隔離及び治療、接触者の健康観察、接触する機会を減らす対策をとることで、感染拡大を防ぐことができる。

## 暫定的勧告の内容

(日本を含む)全ての加盟国に対する助言は、以下のとおり。

1. 人への感染を減らすこと、二次感染及び国際的拡大を防ぐために、関係機関と連携すること等に重点を置くこと。
2. 現在の利用可能な情報に基づき、渡航および貿易の規制について推奨しない。
3. 渡航制限を実施する際は、必ずWHOに報告しなければならぬ。差別を誘発するような措置は控えるべきである。
4. 国際社会は互いに団結し、感染源の特定、ヒトからヒトへの感染の全容解明、輸入症例に対する準備、及び必要な治療薬の研究開発について協力していくべき。

## 課題への対応

### 我が国にも新設獣医学大学が必要

現状とあたるしい獣医学人材育成へのニーズ

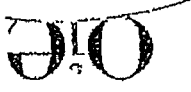
これまで獣医学教育：  
伴侶動物への高度獣医療技術、家畜衛生管理、ラブサイエンスが中心

- 動物由来新興感染症の統御、機境感染症の防疫、食品貿易の安全性確保、食料の安定供給など、新しい分野への対応
- 危機管理や安全確保のための規制措置や規制の国際調和に活躍できる獣医師を育てることも喫緊の課題

### 国際的対応への必要性

- 国際獣疫事務局 (OIE: 国際的な獣医学行政の政府間機関) もこうした観点から、新規の獣医学教育コアカリキュラムを提示
- 文部科学省の獣医学教育改善充実に関する調査検討協力者会議
- ⇒ そのゴールを、国際的に認証される教育を行うこと必要性を提言

WORLD ORGANISATION FOR ANIMAL HEALTH  
Protects animals, preserving our future

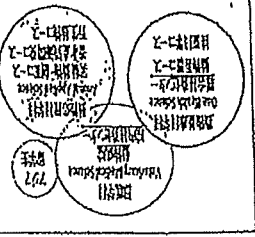


### 我が国の課題と提案

- 我が国に半世紀近く獣医学部は新設されず、国内外の新しい獣医学ニーズにたえられていない状況
- 国立大学の統廃合で獣医学教育のスケールミツを生かそうという運動は失敗に終わる。
- ⇒ 米国のように、過去にとらわれない新規の大学で、国内外のニーズにあった次世代の獣医師等の人材育成をする必要がある

### 新設獣医学大学構想 (獣医学空白地域に新設「地方創生」)

- 獣医師養成のために約72名の教員・入学定員120名の獣医学部を軸とする
- 獣医学部の新設
  - シミュラリーサイエンス分野、危機管理分野(動物健康科学科)
  - 農学系動物科学分野(畜産、水産、昆虫など)などを包括した動物応用科学科を併設
- ⇒ OIEやWHOの提唱するOne Healthを追究する新しい獣医師・獣医事関連専門家を育成



### 我が国が創生を推進するべき地域再生

大学が地域の「知(地)」の拠点として活躍する。

- ①産学連携による畜水産業の新技術導入による新規産業、海外輸出産業振興
- ②食品、医薬品等のシーズ開発、人材育成、ラブサイエンスの企業立地促進
- ③学生・教職員およびその家族等の人口増加による地域活性化
- ④動物科学の国際拠点としてアジアのハイ機能都市化等により自治市の地域再生を図る。